

令和 2 年度 第 3 回図書館協議会 会議録

- ◎開催日時 令和 2 年(2020 年)12 月 19 日(土)午前 10 時~12 時
◎開催場所 野洲図書館 本館 フリースペース
◎出席者 図書館協議会委員 8 名(早川久登委員、松山裕子委員、五十嵐芳子委員、遠藤正一委員、國松完二委員、高野真知子委員、高畠謙治委員、吉野澄子委員)、事務局 2 名(図書館長、専門員(司書))
(欠席委員 2 名・川端初美委員、下谷龍王委員、傍聴者なし)

*配布資料について

ここに掲載した以外の資料については、図書館本館および中主分館で、図書館協議会議事録とともに公開しています。

1. 開 会

2. 議 事

(1) 令和元年度図書館の評価について(外部評価)

事務局より統計の誤りについて説明

新規登録者数に誤りがあり、令和元年度の実績が 1,237 人となっていたが、正しくは 995 人。(前年度比 97 人のマイナス)。誤りの原因は、昨年度システムの更新にかかる統計データの取り扱いの誤り。利用関係のデータは移行されないと聞いていたが、新規登録者数は移行されていた。今回、月別の新規登録者統計を昨年度と比較作業をした際に数字が合わないため、システムの会社に再確認して発覚。昨年 4 月から 6 月初めまでの数値が重複して積算されていた。また、正しい積算方法をとっても、居住区別の新規登録者数と年報の新規登録者数とは、システムのしくみの上で若干の誤差が出る。

【館長】「図書館の評価」の外部評価を確定したいのですが、資料②のこの部分(項目7 新規登録者数)について、“達成できた”という外部評価の部分は削除していただいてもよいでしょうか。

【会長】外部評価は A にしていたが、B にするか C にするか議論をしたい。質問はありますか。新規登録者を別の統計で出すと誤差が出るというのはどういうことですか。

【館長】年報の新規登録者数はその時点での数値で、居住区別の統計数値は入力ミスの修正や住所変更等の利用者情報の変更があると数字が変わる場合があります。

【委員】仕方がないことだが、システムが安いため問題なのですか。ほかの図書館ではどうなのですか。

【委員】システムは、後で入れた日などのデータを入れるところを用意しておかなければならないが、複雑になるので上書きされるようになってきている。月が替わるごとにとか、数値はいろいろ変わり、修正される。集計の仕組みがブラックボックスのようになっており、出た結果をいろいろなカテゴリーで見ると違うということになる。最初の設定時にどれだけやっておけるか、毎月の集計をきちんとして、手で足すのが正しくなる。

【会長】集計する人によりデータが替わるのはよくありません。毎年同じように出せないと困る。

外部評価は A のままですか。B か C ですか。

【委員】コロナのこともあるので、C は低すぎるのではないかと思います。

【館長】この数値は令和元年度分なので、コロナによる臨時休館期間は含んでいません。

【会長】コロナは関係ないのですか。

【館長】令和2年2月から影響はありますが、コロナのために（新規登録者が前年比マイナス97人というほどの）これほど減るといったことはないと思います。

【会長】心情的には10%ダウンで、外部評価はCかと思います。今年、きちんと取り組みをしてもらっているので、Bということにしますか。良いですか？

【委員】BかCか、なにか匙加減でもありますか。

【会長】とくにはありません。よろしいですか。ではBにします。図書館評価については以上です。

では、議題の2、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」について事務局から説明をお願いします。

【館長】その前に資料⑤について説明を補足します。前回の会議で、国松委員より全国の図書館統計の紹介がありましたので配布します。全国の図書館の人口別自治体の数値です。それぞれの人口別の区分のところで、10位以内に滋賀県の自治体も多く上がっているので紹介します。

【委員】東近江市などは全館合わせた数値ですか。蔵書数などは野洲は高いですが。

【委員】そうです。

【会長】野洲市は、(市町村立図書館の人口5万人から6万人の自治体区分で蔵書数は一番ではないにもかかわらず)館外個人貸出数は一番となっています。

【館長】資料費も一番ではありませんが、貸出は多いということです。

【委員】高島市は以前は野洲市と同じ人口5万人台だったが、人口が減ってしまい、人口4万人台の区分に入っているが、数値が高い。野洲は全国100自治体あるうち、ほとんどの項目でトップ10に入っているということです。

【会長】守山市は新しくできた割には少ないのですか。

【館長】全国統計の数値は1年遅れで出るので、新館の数値はまだ入っていません。

【館長】議題2の新型コロナの交付金について。1000万円予算が付いたうち、約500万は小学校向けの学級文庫用図書貸出セットに使います。残りは図書館の資料用です。学級文庫用の本については、2月中旬には小学校へもっていく予定です。このセットのネーミングを小学生から募集していますが、選定については、委員の皆さんの投票により決定する予定です。学級文庫用の本はほぼ発注済みです。図書館用資料も合計で約4割は発注済みです。視聴覚資料は100万円分購入しますが、DVD20万円は発注済み、朗読CDは約20点入荷済みで、音楽CDは約8割の200点は発注済みです。CDはできるだけ早くデータ入力をし、貸出できるようにします。外国語資料は3割は発注済みですが、ベトナム語やインドネシア語などの英語以外外国語図書の選定が難しい。その他の一般書は、約3割が発注済みです。コロナ関係の本、健康、仕事、暮らし等の約300冊が入荷しましたので、開架室に交付金で購入した資料として特集を組んでいるので見てください。

【会長】質問はありますか。

【委員】直接的にコロナ対策に対応するものはどれだけあるのですか。

【館長】それほどたくさんは出版されていません。

【委員】これは設備に使うお金ではないのですね。

【館長】資料を買うためのものです。

【委員】県内の自治体でも国のコロナ対策の交付金で図書館にお金が回ってきています。それで消毒の機械を入れたりしている。自治体によって対応が違います。

【委員】福祉施設用にも、製品があれこれ開発されてきています。コーティングすることによって消毒液で何度も拭いたりしなくてもよくなっている。手間が省ける。そういうものをいろいろな業者が開発競争しています。

【会長】外国語資料を増やしていますが、YIFA(野洲市国際協会)に行って相談しましたか。

【館長】まず、野洲市の国際協会に行って相談しました。どの本を買えばよいというような簡単な答えはありませんが、そこでの情報をもとに選んでいます。市内の小学校や園に外国語を使っている人がどのくらいいるかも聞き取りをしました。ベトナム語の本も選びましたが、絵本はまだよいのですが、大人用の本は選書が難しい。リストはあるのですが、どういう内容なのかが全くわからない。ベトナム人の図書館利用者のかたに相談した方がいいのかとも思います。そして、購入した後にどうアピールしていくかはこれからです。PRは、ホームページにも載せますが、多言語はなかなか入力できない。購入した本のリストをPDFにして掲載するなど考えていますが、もしアイデアがあれば教えてください。

【委員】野洲の国際協会もだが、県の「にじのかけはし」という多言語の情報誌が配られています。中学生が高校を受けるための多言語進路学習会などをやっています。県の国際協会に尋ねてみたらどうですか。ベトナムは増えているし、情報もネットワークもあると思います。ピアザ淡海の二階にあるので相談してみてください。

【会長】他にはどうですか。このお金は今年度中に消化するのですか。

【館長】そうです。

【委員】来年度のことはどうですか。コロナ対策の交付金等、総務省から何か情報がありますか。

【館長】まだ連絡はありません。

【委員】学校にも何回かお金が下りて、空気清浄機や加湿器非接触型体温計、消毒液などを入れました。各校で使わせてもらっています。

【委員】体温を自動でチェックしている機器を入れている図書館はあるのですか。

【委員】あるにはあります。でも、熱があるからといって入館を断れるというものでもないが。

【委員】マスク着用もお願いしているという感じですか。

【委員】他府県では図書館の入り口で名前を書かせているところもまだ少しある。これは問題となりましたが。

【会長】他にはよいですか。では議題3にうつります。

【事務局】今年度のここまでの事業などについて説明します。ポイントカード企画を実施しています。11月7日から年末まで、0歳から中学生の方を対象に、来館や貸出し、登録などに応じてポイントをため、五つポイントがたまると粗品がもらえるというものです。コロナ禍の中であるが、ステイホームの必要がある中、図書館でたくさん本を借りて本を読んでもらおうと企画しました。プレゼントは、雑誌の付録や、毎年化石講座をしてくださっている羽島氏よりご提供いただいた化石や鉱石、その他本のしおりなどを提供しています。11月は中学生以下の新規登録が200件を超え、一定の成果があったと考えています。

次に、12月8日から1週間弱、障がい者サービスのPRイベントを行った。大活字本や点字図書、デイジー図書やLLブックなど、通常の図書館資料を利用しづらい方でもお使いいただける資料があるということをPRするためのもので、会期中のべ32名の方が展示会場へ来られた。こういう資料があることを知らなかったという声も聞かれた。図書館協議会の会長にもお越しいただきましたが、「障がい」という言葉のために、「自分とは関係ないこと」ととらえてしまった人もいたかもしれないというご指摘はその通りだった

かと思えます。今後も機会をとらえて、こうした図書館のサービスを知ってもらおう機会を作っていきたいと考えています。良いお知恵があればぜひお願いします。

通常形の話し会は、今年度はすべて中止していますが、10月から予約制の「ヒミツのおはなし会」を実施している。毎週日曜日の午前中の開催で、今のところ一組の参加があるかどうかぐらいの頻度ではあります。今後は、コロナの感染状況等をみながら、もう少し参加しやすい方法なども検討していきたい。

また、開架室では今、谷川俊太郎さんの『あ』という絵本を核にした、言葉についての展示特集を行っています。出版社のアリス館よりご提供いただいたプロモーションの動画を流すという手法は、図書館ではあまりやってこなかったことだと思います。

新型コロナウイルス対策については、大きく変更はありませんが、今まで閉鎖してきたフリースペースについては、今後場としては開放する予定である。長時間の滞在を誘発しないように気を付けて行いたいと考えています。

今後の予定だが、以前、本館開架室の中央で長倉洋海さんの写真の複製パネルの展示をしましたが、長倉さんとアリス館から、今度は生写真のパネルをお借りできたので、年明けに第2弾の展示を行う予定です。(令和3年1月19日から1月30日開催)。前回展示を行った写真パネルは、先週篠原小学校で展示していただきました。小学校で展示するということをお知りになった長倉さんが喜んでくださり、篠原小学校あてに色紙とお手紙を送ってきてくださったということがあったので、紹介します。その他、海外文学の翻訳家さんのおすすめ本を紹介する「はじめての海外文学」の特集展示を実施予定です。

2月19日と20日は、毎年実施している利用者アンケートを行う予定です。

【委員】長倉さんの写真展の件で補足します。篠原小学校の移動図書館の時に、パネル展示についてお話をもらいました。校内で美術展を行うのに合わせて、長倉さんの作品を並べました。図書館の展示で見た作品が小学校でも見られることに驚きました。篠原小学校のホームページにもその様子をあげたので、見ていただきたい。

【会長】見ていた子どもたちの様子はどうでしたか。

【委員】ながめてはいた、という感じです

【委員】ポイントカードでプレゼントをあげたとのことですが、学校の図書委員でしおりコンクールをしています。展示して表彰もしています。すごく上手に作るの、例えばお金をかけないプレゼントとして、学校現場でコンクールをして、作品をデータ化して図書館で配るとすることもさせていただけます。地域連携の一環としてもよいことだと思います。

【委員】冒頭の話とつながります。お金をかけない、かけてもカード程度であればよいと思います。もう少しいろいろなアイデアを組み合わせ、斬新なものをしてほしい。新規登録者を増やすのに、モノで釣るのかという逆の評価もあるかもしれないが、しおりは学校で提供してもらえますか。

【委員】募集段階で「図書館で配られる」と書いてあれば大丈夫です。データを図書館に提供してそこでしおりを作る形です。

【委員】アイデアが広がります。批判もあるかもしれないが、公共でも面白いことができるチャレンジです。大人対象のものでもアイデアを出してほしい。

【事務局】他館では、図書館で使うレシートの芯などを使ったこけしセットを配るということをしているところもあります。

【委員】障がい者サービスについては、どう一般化できるかという問題。ハード面のバリアフリーやユニバーサルなども特殊ととらえられてしまう。いろんなかたちでいろんな人が関われるものを用意しておくのがよいです。ハンディの部分。昔の障がいのイメージから、今は多岐にわたっている。また、企画に協力できればと考えています。

【委員】盲の方の事務所が彦根に、盲聾の方の事務所が東近江にあります。100人ぐらいの対象の方がいます。この事務所に知らせれば、事務所からのお知らせで野洲の人にも届きやすいかもしれません。

【会長】ポイントカードはいい企画だと思います。ただ資料③をみると貸出冊数は増えていないようですが。

【事務局】いままで親のカードで借りていた分が、子ども本人のカードに置き換わったためだと思います。

【会長】フリースペースは開けるということだが、閲覧席は増やす予定は？

【館長】まだ難しいと思います。参考図書コーナーなどは大きな机があってできそうだが難しい。距離を取ることが大事。参考図書コーナーも窓際も、状況を見ながら増やせないか考えていきたいと思います。

【会長】利用者アンケートは昨年と同じ内容ですか。

【館長】その予定です。

【会長】次は議題4、書誌データの件です。

【館長】以前から問題となっている、図書館システムの書誌データで、外国人の著者のカナ表記への移行はおおむね完了しました。残りの不具合データも1月末までに改善の予定です。

【会長】議題5について

【事務局】「ルーラル電子図書館」は、農文協という出版社が提供している、農業関係のデータベースです。県立図書館が県内図書館分を含め一括で契約したため、野洲図書館でも提供が可能となりました。実際のサービスの提供については現在詰めをしているところですが、年明けから運用を開始する予定です。農業関係の学者が提供する情報やデータ類だけでなく、実際の農業の現場にいる農家のノウハウを知ることにも可能です。図書館のレファレンスにも活用していきたいと考えています。

【会長】これをどのように農業の現場に伝えるのですか。

【委員】農業関係については、You tube にロープの結び方等さまざまな情報が上がっています。若い人などはそれを使っている。そういうところからは得られない情報がこのデータベースには入っています。

【会長】(PRは)回覧板とか、農協を通じてですか。

【委員】お年寄りなどにこういうものをどう届けるのか。ほかの分野でもこういうデータベースはありそうですがどうなのですか。

【事務局】さまざまな業界ごとということであれば、あまり聞かないのですが、調べておきます。

【会長】議題6、図書館協議会交流会について。

【館長】今回の交流会は、講演会の形式で、中川幾朗さんのおはなしでした。豊中の図書館協議会の経験もお持ちで、図書館について非常に詳しく、はっきりとモノをおっしゃる方です。参加された方、感想はどうでしたか。

【委員】夜勤明けだったが、眠気も飛ぶお話でした。こういう先生の教えを受けた人がいろんなところに行けばと思いました。図書館協議会委員としてもどういう立場に関わったらよいのか、痛烈に教えてもらった。その後、図書館で中川先生の書いた本を借りて読んだが、おしりをたたかれたという気がする。公共施設はどうあるべきか、その原点、基本的な大切なところを押さえておられる。

【会長】豊中の図書館協議会と比べ、野洲の図書館協議会のレベルはどのなのだろうと思いました。「参画と

要求」、住民と図書館がお互いに自己革新を加える。図書館は個人の楽しみのためだけにあるのではなく、住民の参画が大事だと言われていました。

【委員】中川先生は「文化について、一番の宝は人」とおっしゃっていた。市民がキーポイント。以前、伊万里市立図書館に行きましたが、そこでは、図書館を作ってほしいというところから市民が関わっていた。図書館ができた後もボランティアとして関わっておられ、住民パワーを感じた。

【委員】指定管理者制度と戦ってこられた方なのだと思います。図書館は指定管理にすべきではないと私も思います。いい人材のいるところもあるが、そうでないところも多い。

【委員】中川先生は、滋賀の各自治体の審議委員をされている。10年前に南草津の図書館に指定管理の動きがあった頃もされていた。当時は草津には図書館協議会はなかった。研修会に中川先生を草津にお呼びしたこともあった。その後草津には図書館協議会ができた。中川先生は図書館人とは少し考えが違うかもしれない。前川恒雄さんは、図書館はまちづくりのためにあるのではない、一人ひとりの市民への資料提供が基本という考え方だった。最近では、市が指定管理者制度に図書館を導入するため、市民も OK しているということを見せるために図書館協議会にその役割をさせているところもあります。そうならないように、図書館が何をやっているを検証するのは必要です。図書館現場も最近世代交代をし、図書館員の選書の質の問題もないとはいえないところもありますが、選書まで図書館協議会で検証というのはどうかと思います。とんでもない本を選んでいるので買うな、ということではなく、今どういうものを買わなければならないか等、図書館協議会が常にいろんなはたらきかけをするのが大事です。

【会長】最近の図書館は、会議スペースが図書館と一緒にあります。地域の活動も図書館で、という考えは、一歩先んじている。

【委員】役所はそうですね。福祉も、高齢者も福祉も丸ごとというふうに、なんでもひとくくりにはいけないのですが、そういう方針になりがちです。

【会長】痛快な講演でした。ほかには、よいですか。では議題7のその他について。

【館長】図書館協議会委員の公募を2月から行います。作文のテーマを「市民として野洲図書館に期待すること」としました。ほか、お配りした資料の中に、委員が関わっておられる「ゆっくぶっく」についての記事があるのでご説明お願いします。

【委員】近江八幡で活動している読書会グループに入っています。テキストを自前で購入していますが、それをバザーに出していました。図書館より廃棄本の販売をする人を募集したときに、月2回程度であればできるかと、会で応募しました。九月にオープンした当初はのべ153人、1000冊の販売がありスタッフ4人で対応しました。コロナ対策もして、入場制限もした。

【委員】自治体で廃棄本を払い下げるのは珍しい。備品なので基本は廃棄になります。市長が市民にであれば払い下げてもかまわないとしたのですか。どこの自治体でもというわけにはいかないと思います。

【会長】売れ残りはどうするのですか。

【委員】結構売れています。基本は、新しいものに混ぜていきます。売り上げは文化事業に還元しています。図書館はノータッチです。7000冊でスタートして、いままでで3500冊は出たと思う。売れなさそうなものは、自由に持ち帰ってもらっています。

【委員】野洲のリユース本はどのようにしていますか。

【館長】毎年リサイクル市を開催して譲渡していましたが、今年はコロナのために開催できませんでした。常設リサイクルの棚に少しずつ出しています。

【委員】リサイクル本がなくなる図書館、残る図書館いろいろあります。最後は裁断処分です。長浜は入札し払い下げというやり方をしています。

【委員】図書館の雑誌などをブックオフで見かけたことがあります。

【委員】京都などでは業者が図書館に見に来ることもあります。

【会長】野洲の常設リサイクル棚はよくなってしまっています。トイレットペーパーに代えられているのかもしれませんが。

【館長】(そういう使い方はしないように)何らかの貼り紙はした方がいいかと考えています。

【委員】私の方から配らせていただいた新聞記事のコピーについて説明します。柳美里さんの記事はご存じかと思います。図書館的に柳美里さんといえば、『石に泳ぐ魚』の件です。モデルの方が裁判を起こし、出版差し止め、回収となり、そういう本を図書館でどう扱うのか大きな議論になりました。「まちの図書館が消える」は、常滑市の中央館が老朽化したのが財政難で新しく建てることを断念したという記事。今人気の「鬼滅の刃」は、全国紙に3種ずつ全面広告を出したが、そのコピーについて。館内のコピー機では記事が大きすぎてコピーが取れない。スマホでの撮影は、法的に私的コピーであればできるという話です。この日の新聞を盗られたという図書館もあるのでは。新潟県立図書館は、公共施設の中で文教施設の委託割合が低いから指定管理者制度を導入するという話。

【委員】指定管理でないまちの図書館の職員さんたちは、譲れないという思いで頑張ってくださいと思っています。それあってこそいい図書館になると思う。そういう流れにならないよう頑張ってもらいたい。

【会長】前回の会議で委員から出たコミセンの取組みについてはどうですか。

【館長】コミセンに図書館機能を置いてほしいというご希望でしたが、以前部長が説明した通り、市の施設の在り方全体から考えて無理です。ただ、何らかの図書館のサービスは考えられるかもしれません。地域の思いやコミセンの事務局の方の考えをお聞きしたいと考えています。図書館へ来られない人へのサービスをどうしていくか、ということは課題です。

令和2年度 第3回図書館協議会 次第

令和2年12月19日(土)

野洲図書館 本館 フリースペース

午前10時～12時

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 令和元年度図書館の評価について(外部評価)
- (2) 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」による資料購入等の事業進捗状況について
- (3) 今年度事業等について(ポイントカード企画、障がい者サービスPRイベント、おはなし会、新型コロナ対策の状況)
- (4) コンピュータシステムの本誌データの改善状況について
- (5) 滋賀県立図書館による有料データベース「ルーラル電子図書館」(農文協)の市立図書館での利用開始について
- (6) 滋賀県図書館協議会交流会について(報告)
- (7) その他

*次回の会議予定

3. 閉 会

配布資料一覧

事前送付資料

- ① 令和元年度図書館の評価(外部評価)

当日配布資料

- ② 令和元年度図書館の評価(登録者数の訂正版)
- ③ 登録者数統計(月別前年比較)
- ④ 令和元年度実績報告(訂正)
- ⑤ 図書館統計全国比較(『日本の図書館2019』日本図書館協会)
- ⑥ ルーラル電子図書館
- ⑦ 公募委員募集チラシ
- ⑧ 図書館だより 12月号
- ⑨ 図書館関係記事
- ⑩ 次回日程調整表

野洲図書館 月別貸出冊数・月別新規登録者数

資料③ 図書館協議会資料

野洲図書館 貸出冊数(月別)

	H30			R1			R2			前年比
	本館	中主分館	合計	本館	中主分館	合計	本館	中主分館	合計	
4	40,724	2,969	43,693	43,044	3,229	46,273	22,974	1,670	24,644	-46.7%
5	47,060	3,256	50,316	42,205	3,497	45,702	23,532	1,663	25,195	-44.9%
6	49,565	3,597	53,162	32,450	2,986	35,436	36,009	2,855	38,864	9.7%
7	55,627	4,145	59,772	46,798	3,727	50,525	39,045	3,505	42,550	-15.8%
8	55,633	4,682	60,315	48,233	3,901	52,134	43,608	3,576	47,184	-9.5%
9	54,043	4,483	58,526	42,522	3,270	45,792	39,603	3,462	43,065	-6.0%
10	49,262	3,831	53,093	42,981	3,653	46,634	41,166	3,198	44,364	-4.9%
11	44,268	3,466	47,734	41,037	3,828	44,865	39,206	3,357	42,563	-5.1%
12	41,397	3,238	44,635	39,306	3,511	42,817			43,662	2.0%
1	42,384	3,297	45,681	41,659	3,789	45,448				
2	42,127	3,427	45,554	44,498	3,507	48,005				
3	48,438	3,987	52,425	47,113	4,378	51,491				
合計	570,528	44,378	614,906	511,846	43,276	555,122	285,143	23,286	352,091	-17.6%

野洲図書館 新規登録者数(月別)

	H30			R1			R2			前年比
	本館	中主分館	合計	本館	中主分館	合計	本館	中主分館	合計	
4	93	5	98	103	7	110	26	0	26	-76.4%
5	216	27	243	122	23	145	37	2	39	-73.1%
6	111	5	116	85	15	100	79	2	81	-19.0%
7	244	8	252	125	13	138	98	11	109	-21.0%
8	321	14	335	218	3	221	108	17	125	-43.4%
9	161	10	171	58	4	62	61	19	80	29.0%
10	126	8	134	77	4	81	77	4	81	0.00%
11	76	8	84	70	12	82	222	28	250	205%
12	51	4	55	55	3	58			102	76%
1	65	3	68	80	6	86				-100%
2	96	3	99	69	8	77				-100%
3	107	4	111	81	2	83				-100%
合計	1,667	99	1,766	1,143	100	1,243	708	83	893	-17.6%
			誤数値	1,454	100	1,554				
			差	311	0	311				